



学校
説明会

8/26(土) 午後1時~4時(予定)
8/27(日) 午後6時~8時45分(予定)

柔道整復学科
鍼灸学科
朝日医療技術専門学校
岡山市伊福町3-10-14 086-214-5214
理学療法学科
朝日ハニートレーニング専門学校
岡山市桑田町2-21 086-223-4111

asahi.ac.jp

国際貢献の輪を広げよう

岡山発推進協へ発起人会



岡山発国際貢献推進協議会 設立発起人会

岡山発国際貢献推進協議会の10月設立に向け事業計画などを話し合う発起人会

10月5日 設立総会 参加呼びかけ開始

岡山県の産学官連携組織「岡山発国際貢献推進協議会」(仮称)の設立発起人会が10日、岡山市内であり、10月5日の設立総会に向けてNGO(非政府組織)、企業、大学、行政などに幅広く参加を呼びかけていくことを決めた。

国際貢献活動を進める産学官連携組織の地方版先進例として、世界に支援の輪を広げる基盤が整うことになる。

発起人代表の石井正弘知事をはじめ、NGO、経済団体、国際関係団体、報道各社などのトップら計十七人が出席。石井知事はあいさつで「各団体の協働の取り組みを強化

し、活動の輪を広げることにより、新しい事業展開を図ることが重要」と述べた。

「県内の多様な主体が連携・協力しながら、国際貢献活動に対する理解の促進や活動のすそ野を広げる」とする設立趣意書に合意、会員募集を始めることにした。

協議会は、石井知事が会長、発起人は理事(十人)、監事(二人)に就任する予定。会員は法

人・団体、年会費は一口一万円とし、会員間のマッチングの場を提供することで農業支援、人材育成、災害救援などの活動創出を図る本年度の事業計画案などを総会に諮ることも申し合わせた。

連携でレベル向上

解説

十月に設立される岡山発国際貢献推進協議会は、個別に活動している団体に連携の場を提供することに最大の存在意義がある。それぞれの団体が力をあわせれば、「岡山の国際貢献力」は確実に

岡山県は世界に信頼される地域を目指し、都道府県では唯一の国際貢献条例を二〇〇四年四月に施行している。

石井知事を除く発起人は次の通り。

青森県国際団体協議会理事長、大倉徹彦山陽放送社長、岡崎彬県国際交流協会理事長・県商工会議所連合会長、加計美也子吉備国際大総長、佐々木勝美山陽新聞社長、末長範彦県経営者協

会長、須賀勝彌岡山放送社長、菅波茂AMD A理事長、砂田治男テレビせとうち社長、中島博真中小企業団体中央会長、永島旭県国際経済交流協会会長、西本和馬県商工会連合会長、松尾雅卿岡山日日新聞社長、的野秀利公設国際貢献大学校校営管理者、村上進通県農協中央会長、吉川昌宏岡山経済同友会代表幹事

(名合弘治)

支援を行うための農業支援を行う意向だが、それを農協との連携によって実現しようとしている。ラオスで果樹栽培を支援する「アジア農村協力ネットワーク岡山」(事務局・岡山市)は昨年末、県の事業を活用して土壌改良・肥料の専門家派遣を受けたことで、科学的根拠に基づき、土づくりを村民に指導できるようになった。力を合わせれば活動がレベルアップした事例だろう。

に高まるはずだ。技術を持つ企業、知識を備える大学、貢献活動に意欲を燃やすNGO(非政府組織)、資金面などで支援する行政などの各団体が支援活動をする際、単独では足りない部分があっても、協議会

を介して連携相手を探し、不足部分を補い合うことが可能になる。例えば、岡山市に本部を置く国際医療ボランティア・AMD A。災害などの緊急援助だけでなく、現地に根づいた復興

(名合弘治)